



3F complex665 6-5-24
Roppongi Minato-ku
Tokyo Japan 106-0032
t +81 3 6434 7010
f +81 3 6434 7011
tig@takaishiigallery.com
www.takaishiigallery.com

Taka Ishii

Gallery

石川直樹

- 1977 東京都生まれ
2002 早稲田大学第二文学部卒業
2005 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了
2008 東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了
東京都在住

個展

- 2025 「ASCENT OF 14 2001-2024 ～8,000メートル峰 14座への旅～」 富士フィルムフォトサロン東京 (東京)
「With the Whole Earth Below」 Goldwin東京本社 (東京)
「雲平線と文学 ―ヒマラヤ8000メートル峰14座から見た世界―」 さいたま文学館 (埼玉)
- 2024 「家のかたち」 PALI GALLERY (沖縄)
「奥能登半島」 ニコンサロン (東京)
- 2023 「石川直樹 : ASCENT OF 14 ―14座へ」 日比谷図書文化館 (東京)
「Vette di Luce. Naoki Ishikawa sulle Alpi Orobie」 アカデミア・カラーラ美術館 (ベルガモ、イタリア)
「K2 / Broad Peak / Nanga Parbat」 SAI (東京)
- 2022 「Road to K2」 PALI GALLERY (沖縄)
「Dhaulagiri / Kangchenjunga / Manaslu」 GYRE GALLERY (東京)
「JAPONÉSIA」 Museu Cais do Sertão (レシフェ、ブラジル)
「ヒマラヤとシェルパ」 南アルプス市芦安山岳館 (山梨)
「MOMENTUM」 タカ・イシイギャラリー (東京) [カタログ]
「まれびと Wearing a spirit like a cloak」 amanaTIGP (東京)
「DENALI IN THE MIDNIGHT SUN」 MA2 Gallery (東京)
「8848 / 8611」 信毎メディアガーデン (長野)

- 2021 「STREETS ARE MINE」 GALLERY A4 (東京)
- 2020 「EVEREST」 SHIBUYA SKY / SKY GALLERY (東京)
「山は人間が生き延びるための根源的な叡智を引きずり出してくれる。」入江泰吉記念奈良市写真美術館 (奈良)
「JAPONÉSIA」 ジャパン・ハウス サンパウロ (サンパウロ、ブラジル、20年10月20日-21年1月3日)
; その後オスカーニーマイヤー美術館 (クリチバ、ブラジル、21年2月11日-7月4日) ; Espaço Cultural Casa das Onze Janelas (バレン、ブラジル、21年12月4日-22年3月20日) へ巡回
「STAY/HOME/WORK」 gallery trax (山梨)
- 2019 「THE HIMALAYAS」 ビジュアルアーツギャラリー (大阪)
「島は、山。island ⇔ mountain」 鹿児島県霧島アートの森 (鹿児島)
- 2018 「New Map for North 知床×運命」 スパイラルガーデン (東京)
「流星の島」 ニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1+2 (東京、5月8日-5月28日) ; その後ニコンプラザ大阪 THE GALLERY (大阪、6月21日-7月4日) へ巡回
「富士山にのぼる」 東山旧岸邸 (静岡)
「極北」 NEW ALTERNATIVE (鹿児島)
- 2017 「Svalbard」 NADiff Gallery (東京)
「POLAR」 田淵行男記念館 (長野)
「いつでもどこでも写ルンです」 富士フィルムフォトサロン東京 (東京)
「New Map for North」 札幌宮の森美術館 (北海道)
- 2016 「この星の光の地図を写す」 水戸芸術館 現代美術ギャラリー (茨城、12月17日-17年2月26日) ;
その後新潟市美術館 (新潟、17年8月10日-9月24日) ; 市原湖畔美術館 (千葉、17年10月21日-12月2日) ; 高知県立美術館 (高知、18年4月7日-6月10日) ; 北九州市立美術館分館 (福岡、18年9月8日-11月4日) ; 東京オペラシティ アートギャラリー (東京、19年1月12日-3月24日) へ巡回 [カタログ]
「『DENALI』出版記念展」 森岡書店 (東京) [カタログ]
「Across Borders: Naoki Ishikawa」 カナダ大使館 高円宮記念ギャラリー (東京)
「まれびと」 キヤノンギャラリー銀座 (東京、1月5日-1月13日) ; その後キヤノンギャラリー梅田 (大阪、1月21日-1月27日) ; キヤノンギャラリー名古屋 (愛知、2月4日-2月17日) ; キヤノンギャラリー福岡 (福岡、2月25日-3月8日) ; キヤノンギャラリー札幌 (北海道、3月24日-4月5日) ; キヤノンギャラリー仙台 (宮城、4月14日-4月26日) へ巡回
- 2015 「Encounter Nature 日本の風土」 キヤノンオープンギャラリー1 (東京)

- 「K2」 CHANEL NEXUS HALL (東京)
「Across Borders: Naoki Ishikawa」 北海道博物館 (北海道)
「Across Borders: Naoki Ishikawa」 王立アルバータ博物館 (ドラムヘラー、カナダ)
「New Map -世界を見に行く-」 横浜市民ギャラリーあざみ野 (神奈川)
- 2014 「まれびと -海から現れし者たち-」 大船渡市立博物館 (岩手)
「国東半島」 銀座ニコンサロン (東京、9月10日-9月23日) ; その後大阪ニコンサロン (大阪、12月18日-12月29日) へ巡回
「AMA DABLAM/GLACIER」 OVER THE BORDER (東京)
「MAKALU」 IMA Gallery (東京)
「POLAR」 カナダ大使館 高松宮記念ギャラリー (東京)
- 2013 「Lhotse」 SLANT (石川) [カタログ]
「Lhotse | Manaslu」 EYE OF GYRE (東京)
- 2012 「異人／国東」 PLACE M (東京)
「Manaslu」 SLANT (石川) [カタログ]
「やがてわたしがいる場所にも草が生い茂る」 やまがた藝術学舎 (山形)
「異人 the stranger」 東北芸術工科大学 (山形)
「Remembrance 3.11 やがてわたしがいる場所にも草が生い茂る」 銀座ニコンサロン (東京、2月29日-3月6日) ; その後大阪ニコンサロン (大阪、3月22日-3月28日) へ巡回 [カタログ]
- 2011 「Halluci Mountain -幻の山-」 EYE OF GYRE (東京)
「8848」 SCAI THE BATHHOUSE (東京)
「第30回土門拳賞受賞作品展『CORONA』」 銀座ニコンサロン (東京、4月27日-5月10日) ;
その後大阪ニコンサロン (大阪、6月2日-6月15日) ; 土門拳記念館 (山形、7月13日-9月11日)
へ巡回
- 2010 「CORONA」 PLACE M (東京)
「ARCHIPELAGO・惑星の庭園」 二期倶楽部 (栃木、7月30日-8月31日) ; その後ギャラリー冊
(東京、9月7日-9月25日) へ巡回
「ARCHIPELAGO」 沖縄県立博物館・美術館 (沖縄)
- 2009 「ARCHIPELAGO」 キヤノンギャラリーS (東京)
「CHRISTMAS ISLAND」 PLACE M (東京)
「ARCHIPELAGO」 中京大学Cスクエア (愛知)

- 「Mt.Fuji」 大阪ニコンサロン (大阪)
「TRAVELOGUE 2000-2009」 ミュゼふくおかカメラ館 (富山)
- 2008 「VERNACULAR」 PLACE M (東京)
「Mt.Fuji」 銀座ニコンサロン (東京)
「POLAR」 「NEW DIMENSION」 コダックフォトサロン (東京)
「VERNACULAR」 銀座INAXギャラリー (東京)
- 2007 「POLAR」 SCAI THE BATHHOUSE (東京)
「NEW DIMENSION」 銀座ニコンサロン (東京、9月19日-10月2日) ; その後大阪ニコンサロン (大阪、10月11日-10月16日) へ巡回
「POLAR」 コニカミノルタプラザ (東京)
- 2006 「THE VOID」 大阪ニコンサロン (大阪)
- 2005 「THE VOID」 新宿ニコンサロン (東京)
- 2003 「for circumpolar stars 極星に向かって」 エプサイト (東京)

グループ展

- 2024 「東急 暮らしと街の文化—100年の時を拓く—」 世田谷美術館 (東京)
「未来都市シブヤ_エフェメラを誘発する装置」 GYRE GALLERY (東京)
- 2023 MOTコレクション「歩く、赴く、移動する 1923→2020」 東京都現代美術館 (東京)
「山梨国際芸術祭 八ヶ岳アート・エコロジー2023」 清春芸術村 (山梨)
- 2022 「まれびとと祝祭 一祈りの神秘、芸術の力」 高島屋史料館TOKYO (東京)
- 2021 「奥能登国際芸術祭2020+」 (石川)
「山があるから」 福井ふるさと文学館 (福井)
- 2020 「先端芸術 2020 / アペラシオン APPARITION」 東京藝術大学大学美術館陳列館 (東京)
「吉開菜央×石川直樹 写真・映像展 in 知床 『TOP END 4』」 ゆめホール知床 (北海道)

- 2019 「西野壮平×石川直樹 PHOTO EXHIBITION 『TOP END 3』」 ゆめホール知床（北海道）
「Sequenza Sismica」 Italienisches Kulturinstitut （ベルリン、ドイツ）
- 2018 「コレクション展II LANDSCAPE」新潟市美術館（新潟）
「新収蔵品展」静岡県立美術館（静岡）
「PIECE OF PEACE レゴ®ブロックで作った世界遺産展 Part-3 KAGOSHIMA」鹿児島県歴史資料センター黎明館（鹿児島）
「石川直樹・石川竜一写真展 in 知床『TOP END 2』」 ゆめホール知床（北海道）
「写真都市展 -ウィリアム・クラインと22世紀を生きる写真家たち-」 21_21 DESIGN SIGHT（東京）
- 2017 「Géants, le spectacle de la montagne Exposition」 Librairie Volume（パリ、フランス）
「Sequenza Sismica」 THE MODENA MATA（モデナ、イタリア）
「写真家が見た沖縄 1972-2017」沖縄県立博物館・美術館（沖縄）
「開館15周年記念 誉（ほまれ）のくまもと」熊本市現代美術館（熊本）
「奥能登国際芸術祭2017」珠洲市宝立地区 宝湯（石川）
「札幌国際芸術祭2017」札幌宮の森美術館（北海道）
「山へ！ to the mountains」世田谷文学館（東京）
「鈴木理策・石川直樹 PHOTO EXHIBITION in SHIRETOKO “TOP END”」 ゆめホール知床（北海道）
「アイヌ語地名を地形で巡るシラオイ、ノボリベツ ～宇宙一人文学とアートで読み解く風景と人の記憶～」アイヌ民族博物館（北海道）
- 2016 「〈イキモノ〉石川直樹×平敷兼七 二人展」平敷兼七ギャラリー（沖縄）
「風景のかたちー前田真三と現代日本の風景写真ー」足利市立美術館（栃木）
「青森EARTH2016 根と路」青森県立美術館（青森）
「GENBI SHINKANSEN（現美新幹線）」上越新幹線（新潟）
- 2015 「Tokyo International Photography Festival 2015」ART FACTORY 城南島（東京）
「青森EARTH2015 みちの奥へ」大山ふるさと資料館（青森）
「水と土の芸術祭」ベースキャンプ（旧二葉中学校）（新潟）
「MOTコレクション『戦後美術クローズアップ』」東京都現代美術館（東京）
「転生 / TRANSMIGRATION 2015」アランアランハウス（パリ、インドネシア）
「ここより北へ 石川直樹 + 奈良美智 展」ワタリウム美術館（東京）
- 2014 「Anima on Photo – Hidden Sense of Japanese Photography」 Machinegebouw、UNSEEN Photo Fair（アムステルダム、オランダ）

- 「大館・北秋田芸術祭 2014」 大館食品（秋田）
「国東半島芸術祭 2014」 国見ふるさと展示館 旧有永邸 & ZECCO（大分）
- 2013 「国東半島アートプロジェクト 春期」 豊後高田市旧香々地町役場（大分）
- 2012 「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2012」 旧名ヶ山小学校（新潟）
「水と土の芸術祭 2012」 旧笹川家住宅（新潟）
「森山大道×石川直樹 To Nirvana and Back」 渋谷ヒカリエ8 / CUBE1,2,3（東京）
- 2010 「トランスフォーメーション」 東京都現代美術館（東京）
「2010 さがみはら写真賞 受賞作写真展」 相模原市民ギャラリー（神奈川）
「126 POLAROID さよならからの出会い」 横浜美術館（神奈川）
「瀬戸内芸術祭」 福武ハウス、女木小学校（香川）
「VOCA展 2010」 上野の森美術館（東京）
「クロッシング・カオス1999-2009」 銀座ニコンサロン（東京、1月5日-1月19日）；その後大阪ニコンサロン（大阪、4月15日-4月21日）へ巡回
- 2009 「PHOTO BOOK.PH 2009+10」 Photobook Award（フランクフルト、ドイツ）
「日本の新進作家展vol.8」 東京都写真美術館（東京）
「サハリンを読む」 北海道立文学館（北海道）
「Voyages」 パリ日本文化会館（パリ、フランス）
「第25回東川賞受賞作家展」 東川町文化ギャラリー（北海道）
「近くから遠くへ」 群馬県立館林美術館（群馬）
「MOTコレクション『MOTで見る夢』」 東京都現代美術館（東京）
「アーティスト・ファイル 2009 -現代の作家たち-」 国立新美術館（東京）
- 2008 「MOTコレクション『サヴァイバル・アクション-新収蔵作品を中心に』」 東京都現代美術館（東京）
「Nam June Paik Art Center Inaugural Festival, NOW JUMP!」 ナムジュンパイク・アートセンター（ソウル、韓国）
「Five Photographers Show」 ギャラリー・イルム（ソウル、韓国）
「日本写真協会賞 受賞作品展」 富士フィルムフォトサロン（東京）
「祈りの痕跡」 21_21 DESIGN SIGHT（東京）
「エコゾフィーの実践 I」 EYE OF GYRE（東京）
「現代写真の母型2008 -写真ゲーム-」 川崎市市民ミュージアム（神奈川）
- 2007 「東京藝術大学 大学院美術研究科 博士審査展」 東京藝術大学 大学美術館（東京）

- 「目黒の新進作家 -七人の作家、7つの表現-」 目黒区美術館（東京）
- 2006 「epSITE retrospective 1998-2006」 エプサイト（東京）
「New Visions of Japanese Photography」 雅集画廊（上海、中国）
「THE EXPOSED of the art」 CASO（大阪）
- 2005 「SKY-HIGH」 KPOキリンプラザ（大阪）
「東京藝術大学大学院修了作品展 『Project the Projectors 2005』」 旧坂本小学校（東京）
- 2004 「フォトドキュマン STILL & MOVE」 杜のホールはしもと（神奈川）
「On The Edge of Nowhere 二つの異なる“自然”」 kuspace wien（ウィーン、オーストリア）
「Visions on the move」 graf media gm（大阪）

出版物

- 『MOMENTUM』 青土社、2022年
- 『STREETS ARE MINE』 大和書房、2022年
- 『シェルパのポルパ 火星の山にのぼる』 岩波書店、2022年
- 『奥能登半島』 青土社、2021年
- 『北極へ』（文庫版）毎日新聞社、2021年
- 『シェルパの友だちに会いに行く -エベレスト街道日誌2021-』 青土社、2021年
- 『SHERPA』 TOO MUCH Magazine+THE NORTH FACE、2020年
- 『東京 ぼくの生まれた街』 エランド・プレス、2020年
- 『アラスカで一番高い山』（たくさんのふしぎ 2020年4月号）福音館書店、2020年
- 『シェルパのポルパ エベレストにのぼる』 岩波書店、2020年
- 『増補版 富士山にのぼる』 アリス館、2020年
- 『ユーコンがわ だいぼうけん』（おはなしワンダー 2020年7月号）世界文化社、2020年
- 『シェルパのポルパ 冬虫夏草とおおきなヤク』 岩波書店、2020年
- 『地上に星座をつくる』 新潮社、2020年
- 『この星の光の地図を写す』 リトルモア、2019年
- 『増補新版 いま生きているという冒険』（よりみちパン!セ）新曜社、2019年
- 『Naoki Ishikawa - The Himalayas』 TOO MUCH Magazine、2019年
- 『Ama Dablam』 SLANT、2019年
- 『日本列島 石川』 SUPER LABO、2019年

『日本列島 山口』 SUPER LABO、2019年
『Gasherbrum II』 SLANT、2019年
『まれびと』 小学館、2019年
『EVEREST』 CCCメディアハウス、2019年
『EVEREST / K2』 CCCアートルボ、2019年
『Kagoshima Archipelago』 2018FCR
『日本列島 大分』 SUPER LABO、2018年
『日本列島 東京』 SUPER LABO、2018年
『日本列島 新潟』 SUPER LABO、2018年
『日本列島 秋田』 SUPER LABO、2018年
『日本列島 北海道』 SUPER LABO、2018年
『極北へ』 毎日新聞出版、2018年
『流星の島』 SUPER LABO、2018年
『ヒマラヤだいぼうけん』（おはなしワンダー 2018年10月号）世界文化社、2018年
『Svalbard』 SUPER LABO、2017年
『知床半島』 北海道新聞社、2017年
『DENALI』 SLANT、2016年
『ぼくの道具』 平凡社、2016年
『K2』 SLANT、2015年
『瀧と里山』 青土社、2015年
『SAKHALIN』 アマナ、2015年
『The Himalayas』 TOO MUCH Magazine
『完全版 この地球を受け継ぐ者へ -地球縦断プロジェクト「Pole to Pole」全記録-』（文庫版）筑摩書房、2015年
『世界のともだち 20 フィリピン -棚田の町のネリ-』 偕成社、2015年
『髪』 青土社、2014年
『国東半島』 青土社、2014年
『宮本常一と写真』 平凡社（共著）、2014年
『世界のともだち 09 バングラデシュ -わんぱくアシフと青い自転車-』 偕成社、2014年
『Makalu』 SLANT、2014年
『Manaslu』 SLANT、2014年
『Qomolangma』 SLANT、2014年
『Lhotse』 SLANT、2013年
『世界を見に行く。』 リトルモア、2012年
『最後の冒険家』（文庫版）集英社、2011年
『For Everest ちょっと世界のとっぺんまで』 リトルモア、2011年
『CORONA』 青土社、2010年

『ARCHIPELAGO』 集英社、2009年
『全ての装備を知恵に置き換えること』 (文庫版) 集英社、2009年
『富士山にのぼる』 教育画劇、2009年
『Mt.Fuji』 リトルモア、2008年
『最後の冒険家』 集英社、2008年
『VERNACULAR』 赤々舎、2008年
『POLAR』 リトルモア、2007年
『NEW DIMENSION』 赤々舎、2007年
『いま生きているという冒険』 (よりみちパン!セ) 理論社、2006年
『THE VOID』 ニーハイメディアジャパン、2005年
『全ての装備を知恵に置き換えること』 晶文社、2005年
『POLE TO POLE -極圏を繋ぐ風-』 中央公論新社、2003年
『大地という名の食卓』 数研出版、2003年
『この地球を受け継ぐ者へ -地球縦断プロジェクト「P2P」全記録-』 (文庫版) 講談社、2002年
『この地球を受け継ぐ者へ -人力地球縦断プロジェクト「P2P」の全記録-』 講談社、2001年

受賞歴

2020 日本写真協会賞作家賞
2011 土門拳賞
2010 さがみはら写真賞
2009 東川賞新人作家賞
2008 開高健ノンフィクション賞
講談社出版文化賞
日本写真協会新人賞
2006 ニコンサロン三木淳賞
さがみはら写真新人奨励賞

パブリック・コレクション

沖縄県立博物館・美術館 (沖縄)
北九州市立美術館 (福岡)

相模原市（神奈川県）

静岡県立美術館（静岡）

上海視覚芸術大学（上海、中国）

東京都写真美術館（東京）

東京都現代美術館（東京）

土門拳記念館（山形）

新潟市美術館（新潟）

東川町文化ギャラリー（北海道）

東日本旅客鉄道株式会社 JR東日本 現美新幹線（新潟）

横浜美術館（神奈川県）

Cleveland Clinic（クリーブランド、オハイオ州、アメリカ）